

日程	日付	時間	所要 時間	前期 後期	講義 演習	科目	目的
1 日目	平成28年 10月12日 (水)	9:00~12:00	3	前期	講義	① 介護保険制度の理念と現状 及びケアマネジメント	介護保険制度の理念等を理解するとともに、地域包括ケアシステムの構築に向けた取組の現状を理解する。 また、介護保険制度における利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの役割を理解し、地域包括ケアシステムにおける介護支援専門員の役割を認識する。
2 日目	平成28年 10月13日 (木) PM	13:00~17:00	4	前期	講義 演習	④-3 「自立支援のためのケアマ ネジメントの基本」	利用者の尊厳の保持及び自立支援に資するケアマネジメントの視点を理解する。 また、利用者が住み慣れた地域で主体的な生活を送ることができるように支援することができるように支援することの重要性を理解するとともに、在宅生活を支援する上で、家族に対する支援の重要性を理解する。
3 日目	平成28年 10月14日 (金)	9:00~11:00	2	前期	講義 演習	④-3 「自立支援のためのケアマ ネジメントの基本」	
	平成28年 10月14日 (金)	11:10~12:10 13:00~18:00	6	前期	講義 演習	④-2 介護サービス（ケアマネジ メント）の基礎技術 「アセスメント、ニーズの 把握の方法」	利用者及びその家族並びに多職種からの情報収集とその分析を通じて、介護支援専門員としての専門的な判断の根拠を説明できる技術を習得する。 また、アセスメントにおいて収集した情報から、専門職としてニーズを導くための技術を習得する。
4 日目	平成28年 10月15日 (土)	9:00~16:00	6	前期	講義 演習	④-1 「相談援助の専門職として の基本姿勢及び相談援助技 術の基礎」	ケアマネジメントにおける相談援助の専門性を理解し、直接援助職から相談援助職への視座の転換を行う。 また、利用者のニーズを把握する上で、利用者を多面的に捉える視点の必要性を理解し、利用者の自立支援に向けた相談援助技術を習得する。
	平成28年 10月15日 (土)	16:00~16:30	1	前期	講義	⑤ 実習オリエンテーション	研修における実習の位置付けと目的、実施方法を理解し、効果的な実習に結びつける。
演 習	平成28年 10月15日(土) ~11月7(月)				実習	⑥ ケアマネジメントの基礎技 術に関する実習	実習現場でのケアマネジメントプロセスの経験を通じて、実践に当たっての留意点や今後の学習課題等を認識する。
5 日目	平成28年 11月15日 (火) PM	13:00~17:00	4	後期	講義 演習	④-4 「居宅サービス計画等作 成」	ニーズを踏まえた目標の設定と目標を実現するための居宅サービス計画等の作成技術を習得する。 また、居宅サービス計画等と訪問介護計画等の個別のサービス計画との連動の重要性を理解する。
6 日目	平成28年 11月16日 (水)	9:00~16:00	6	後期	講義 演習	⑨-2 「サービス担当者会議の意 義及び進め方（課題整理総 括表含む）」	多職種とのアセスメント結果の共有や、居宅サービス計画等の原案に対する専門的見地からの意見収集の意義を理解し、会議の開催に係る具体的な方法を習得する。
7 日目	平成28年 11月17日 (木)	9:00~14:00	4	後期	講義 演習	④-5 「モニタリング及び評価」	ケアマネジメントプロセスにおけるモニタリングの意義・目的や多職種との連携によるサービス実施の効果を検証することの重要性を理解する。
		14:00~17:00	3	後期	講義	④ 【新科目】 人格の尊重及び権利擁護並 びに介護支援専門員の倫理	人件と尊厳を支える専門職に求められる姿勢を認識する。 また、介護支援専門員としての職業倫理を理解するとともに、日常業務で直面する倫理的課題等を認識する。
8 日目	平成28年 11月18日 (金)	9:00~12:00	3	後期	講義 演習	⑧ ケアマネジメントに係る法 令等の理解	法令を遵守し、介護支援専門員の業務を適切に遂行できるよう、介護保険制度に係る法令等を正しく理解する。
		13:00~15:00	2	後期	講義 演習	⑩ 研修全体を振り返っての意 見交換、講評及びネット ワークづくり	研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽の意欲を高める。 また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。